

Axial	目標部位	使用する主な診療科	用途
① OML (orbitomeatal line)	橋延髄移行部と鼻根部	すべて	正確な OML ではないが、CT とほぼ同じ断面の画像が得られる 多くの施設で基準線として使用されているが、MRI は CT と異なり後頭蓋窩からのアーチファクトが無いため一考が必要
② AC-PC line (前後交 連線)	前交連(AC) 上端 と後交連(PC) 下端	神経放射線科脳外科神経内科	定位脳手術等、脳外科における基準線 目標が小さいため、同定するためには正確なsagittal 画像を4 mm 以下のスライスで撮像する必要がある疾患により同定できない場合がある
③ Subcallosal line	脳梁膝部と膨大部下縁	すべて	多発性硬化症ガイドライン2003 による基準線 (http://www.mscafe.org/?page=MRI_protocol) 初心者にも設定し易く、脳の視野が広く疾患による移動が少ない
④ AML (acanthiomeatal line)	鼻棘(nasal spine)と橋延髄移行部	耳鼻科、形成外科、口腔外科	上顎洞が最も広く観察されるため、耳鼻科で多用される耳下腺、顎下腺にも使用され、口腔外科領域MRIで合わせることが困難な咬合平面に代わる基準線
⑤ LML (lips-meatal line)	口唇閉鎖部もしくは口唇接合部と橋延髄移行部	耳鼻科、形成外科、口腔外科	口腔外科領域で使用することが多い
⑥ MML (mentomeatal line)	下顎骨下部先端と橋延髄移行部	形成外科、口腔外科	下顎骨撮像に使用
⑦ melanin	橋上部と橋下部を結ぶ線に直行	神経内科	神経メラニン画像(黒質緻密部下パミン作動性神経細胞・青斑核ノルアドレナリン作動性神経細胞)の撮像に使用
⑧ Optic Chiasma	視交叉に平行	眼科、脳外科	視交叉(視神経)の撮像に使用
⑨ ABL (IOML: infraorbitomeatal line)	脳幹後縁(第4脳室底)に垂直		人類的基準線だが、脳内疾患による変位が多く、使用する施設は少数と思われる
Coronal			
⑩ GAL (glabelloloveolar line)	前額面	眼科、耳鼻科、形成外科、口腔外科	視神経短軸、副鼻腔/上顎骨等の撮像に使用
⑪ AC-PC+ 90 deg	AC-PC line に直交する断面		以前から使用されているが、用途不明
⑫ 下垂体	下垂体柄に平行	脳外科、眼科	脳下垂体の撮像での基準線であり、ほとんどの施設が用いている
⑬ Clivus	斜台に平行	脳外科神経内科等	疾患による変位が無く、海馬を撮像する場合の基準線で、直交すると海馬の長軸断面が得られる
⑭ Standard Coronal	脳幹中心に平行(目標物無し)第4脳室底に平行橋延髄後面に平行	すべて	標準的な coronal line として用いられるが、目標物が無いため合わせにくいという意見もある 第4脳室底に平行、または橋延髄後面に平行にすることで標準化が可能
⑮ AML+ 110 deg	AML line に110度 後傾する断面	耳鼻科	顔面神経束の垂直部を観察するのに適している内耳の coronal CTもこの断面を使用します